

要 望 書

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭 81号岸壁の新規事業化について



霞ヶ浦地区の利用状況

令和2年6月26日

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会

平素は、四日市港の整備推進に関し、特段のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

近年、四日市市周辺地域において、臨港道路「霞4号幹線（四日市・いなばポートライン）」、新名神高速道路の県内全線、東海環状自動車道の東員IC～大安IC間が開通するなど道路網が整備されたことで、四日市港は利便性が向上し、伊勢湾における国際拠点港湾として一層の飛躍が期待されています。

霞ヶ浦地区では、外貿コンテナ取扱量が着実に増加するなど活況を呈しているなか、東南アジア航路をはじめとする取扱貨物量の増加及び船舶の大型化に対応した岸壁機能の強化、完成自動車の輸出やバイオマス発電燃料等のバルク貨物の受入れ増加に対するバース数の不足、埠頭用地の不足による混雑・非効率な運用について、荷主、船社、港運事業者より物流機能の強化を求める声が高まっています。

さらに、南海トラフ地震への対策が求められるなか、背後に素材型産業が多数集積する港として、国土強靱化、基幹産業の維持に向けた港湾機能強化の観点から、耐震強化岸壁の整備は一刻も早い実現が必要です。

今後も、四日市港が地域の暮らしを守り、背後圏産業の発展を支えていくためには、霞ヶ浦地区の貨物の取扱機能の集約による高度化、効率化及び災害対応力の強化が必要不可欠です。

つきましては、かかる実情をご賢察のうえ、下記の事項について、特段のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

- 1 四日市港霞ヶ浦地区北埠頭へのコンテナターミナルの集約・機能強化、並びに災害対応力の強化を目的とした新たな耐震強化岸壁（W81）について、令和3年度に新規事業化すること。
- 2 南埠頭、北埠頭に分散しているコンテナ取扱機能を北埠頭へ集約し、南埠頭における完成自動車、エネルギー関連貨物の再編・拠点化を図り、利便性能を向上すること。

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長 種橋 潤治

四日市港霞ヶ浦地区における現状と課題

【コンテナ貨物】

- 近年、霞ヶ浦地区へ入港するコンテナ船の大型化が進んでおり、必要水深を満たす岸壁が不足している。
- コンテナターミナルの耐震強化施設が未整備であり、大規模地震の発生の際には荷役機能の停止により、背後の企業や経済活動に甚大な影響を及ぼす。

【エネルギー関連貨物等】

- オイルコックスやバイオマス発電燃料の新規輸入開始に伴い、バース調整、背後ふ頭用地の不足が顕在化。

【完成自動車】

- 完成自動車の輸出再開に伴い、バース調整、モータープールなど背後ふ頭用地の不足により、四日市地区への振替など非効率な運用形態

【クルーズ船】

- 霞ヶ浦地区にて受け入れているが、利用者調整が困難であり、入港制限をかけている。

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会員からの主な意見表明 (令和元年5月11日)

＜東ソー株式会社＞

- 現在建設中の最新鋭ナフサ分解炉の設置と、既存分解炉の効率化によるコスト削減は行っているが、産業インフラとしてのコンビナート企業群をさらに発展させるためには、港湾機能の強化はこれまでも増して重要である。

＜本田技研工業株式会社＞

- 生産体制の見直しに伴い、生産拠点が寄居・鈴鹿に集約されることから、輸送・保管能力の確保及び効率化が重要であり、霞ヶ浦地区への完成自動車取扱機能の集約・最適化を図って頂きたい。

＜オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン株式会社＞

- 船舶の大型化に対応した生産性の高い積み下ろしができる港の整備をお願いしたい。

＜名古屋四日市国際港湾株式会社＞

- 効率的なコンテナターミナルの運営を実現するとともに、大規模地震時にも安定的な輸送を実現できるよう、北埠頭に耐震強化機能を備えたコンテナターミナルを整備頂きたい。



- 霞ヶ浦北埠頭に新たなコンテナターミナルを整備して、霞ヶ浦地区全体の取扱機能の強化が必要。
- 大規模地震時における幹線貨物の物流機能確保が必要。

北埠頭における耐震強化岸壁(W81)の令和3年度新規事業化を！



2018年2月15日撮影
(MOL 5,041TEU 積)